

第66回 筑波学校体育研究会・夏期研修会のご案内

コロナ感染症の影響で2020年の夏期研修会は開催できず、2021年は秋期に、昨年度は夏期にオンラインで1日だけ開催しましたが、本年度は人数制限を設けて2019年8月以来の対面での夏期研修会を開催することにいたしました。この間、体育においても子どもたちの運動技能、集団での活動の経験等で大きな影響を受け、まだコロナ前の状態にはほど遠い領域もあります。

このような状況をふまえ、今年度は、目の前の子どもたちに獲得させたい運動技能とその指導方法を課題にすることにしました。ふるってご参加いただければと思います。

令和5年5月吉日

筑波学校体育研究会 会長 松本格之祐

理事 一同

1. テーマ 今獲得させたい運動技能とその指導

2. 期 間 令和 5年 8月 5日(土)～ 8月 6日(日)

3. 会 場 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校(地下鉄・丸の内線「茗荷谷」駅 徒歩5分)

4. 会 費 8,000 円

5. 申し込み こくち一ず(以下、URLよりお申し込み下さい)

<https://kokc.jp/e/137a0c6d085a281cb9f9ca453a85fa83/>

※申し込み締切は、8月2日(水)です。ただし、定員になり次第締め切ります。

※ご参加の受付確認は、入金確認メールがお手元に届いた段階となります。

※携帯電話のキャリアメール(@i.softbank.jp、@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp)での登録はお控え下さい。事務局からのメールが届かないことがあります。

※Gmail(@gmail.com)の場合、事務局からのメールが迷惑メールフォルダに入ることがあります。迷惑メールフォルダも随時ご確認ください。

QRコード



6. 定 員 110名

7. 主 催 筑波学校体育研究会

8. 日 程 講師及び天候等の都合により内容を変更することがあります。

8:30	9:00	9:30	11:30	13:00	16:00	16:10	17:40頃
8月5日(土)	受付	開会 行事 会長 挨拶 事務 連絡	◇授業研究Ⅰ 6年生 眞榮里 耕太 ◇研究協議	昼 休	実技指導 ※80分で交代して2講座とも受講 ・跳運動 坂野 由彦 ・鉄棒運動 松本 格之祐	休 憩	実技指導・相談室 ※いずれか選択 ・運動会で使える レクダンス 鯉谷 美代 【前半】 マネジメント 木下 光正 【後半】 水泳 平川 譲 体づくり 夏莉 崇嗣 齋藤 直人
8月6日(日)	◇授業研究Ⅱ 9:00～	4年生 山崎 和人 ◇研究協議	古屋賞 発表	憩	実技指導 ※80分で交代して2講座とも受講 ・なわとび 山本 悟 ・ゴール型 清水 由	各会場で閉会 ・諸連絡等	

※実技のできる服装・運動靴・室内履きをご用意下さい。また、水分の提供は限りがありますので、各自ご用意下さい。

9. お支払いについて

こくちーず（クレジットカード・コンビニ・ATM、振込）

- ・期日までに入金がお済みでないとキャンセルになってしまいますのでご注意ください。
- ・キャンセル時の返金につきましては、システム利用料、振込手数料等を差し引いた金額の返金となります。

※8月3日（木）以降は、TEL 03（3946）1948 までご連絡下さい。

※下記ホームページでも同じ案内を掲載しています

（ファイル変換の都合で日程表の時刻がずれる場合があります）。

<http://www.catv296.ne.jp/~tsukuba-taiiku/>

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育準備室 TEL&Fax 03（3946）1948（直通）

* 傷害保険に加入いたします。

10. 古屋賞投稿規定

「古屋賞」寄稿規定

- 1 本賞に寄稿できるのは、筑波学校体育研究会会員に限る。会員は、本年度を含む3年以内の夏期研修会参加者とする。ただし、寄稿論文の研究者が複数の場合には、その中の一人が会員であればよい。
- 2 寄稿論文は未発表のものに限る。寄稿内容は、原則として教科体育及び学校体育（体育的行事、教科外体育など）に関する実践研究とし、研究目的・研究方法・研究結果・結論とその根拠等を明確にし、研究の性格によっては追試が可能なように文章を作成する。
- 3 提出原稿は、図表や写真のコピーを含めてA4版用紙6ページ以内とする。
- 4 原稿の文章は、パソコンにより作成し、図や表はそのまま印刷できるように作成し、各図表にはタイトルを付ける。
- 5 入賞論文には、表彰状と些少の研究奨励金を授与する。なお、入賞論文は印刷して夏期研修会参加者に配布する。また、選外で顕著な努力が認められた論文に金一封を授与する。

「古屋賞」について

長く理事長を務められ、本会の中心的役割を担ってこられた古屋三郎先生が平成12年6月にご逝去されました。長年の先生のご功績に対し、「古屋賞」を設けております。

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。また、入賞論文については、参加者に配布することとします。

応募規定は上記の通りです。

◆投稿の方法

論文データを7月24日（月）までに下記へお送りください。

※事情により、古屋賞投稿アドレスを下記に変更いたしました。

既にお送りいただいている会員がいらっしゃいましたら、変更後のアドレスに再送をしていただきますようお願いいたします。

ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

kakikennsyuukai@yahoo.co.jp (変更前) → kakikennsyuukai@gmail.com (変更後)